

令和4年度

別府市の事業と予算

問 財政課 ☎ 21-1243



3月の市議会定例会で、別府市の令和4年度予算が決まりました。

令和4年度は、市民一人ひとりが幸せを実感できるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みつつ、共生社会の実現に向けた取組の推進、観光振興・経済対策、子育て・教育環境の充実など、各課題の解決に向けて取り組む予算を編成しました。

当初予算の規模

一般会計 558億2,000万円（前年度比 +6.6%）

特別会計 607億8,500万円（前年度比 +11.2%）

《一般会計》

民間児童福祉施設等整備費補助金、保育所運営費負担金、湯のまち別府ふるさと応援寄付金関係経費、新型コロナワクチン接種事業、学校給食共同調理場建替事業などの増加により、前年度比で34億7,000万円（+6.6%）の増額となっています。

《特別会計》

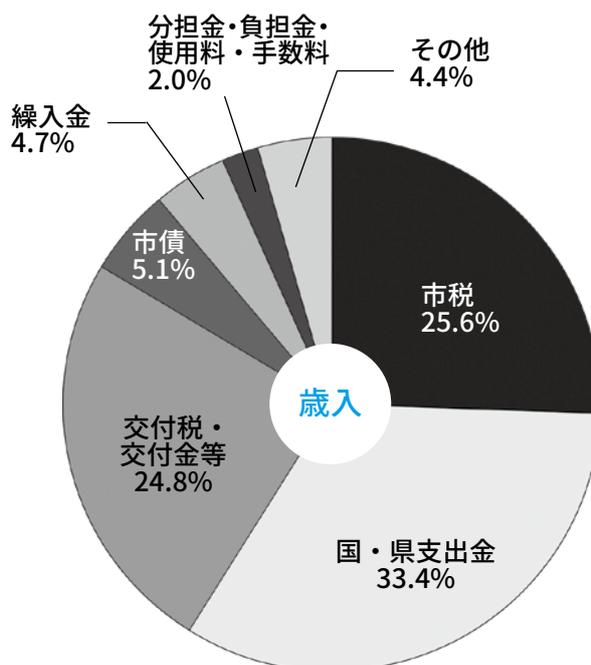
競輪事業がウィナーズカップ（GⅡ）の開催により増加するなど、全体として前年度比61億100万円（+11.2%）の増額となっています。



一般会計の予算額

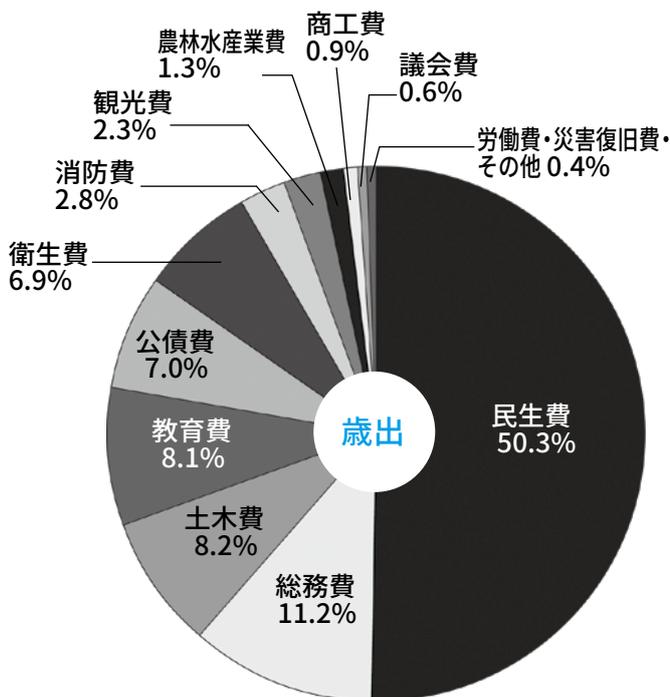
歳入(収入)の内訳

区 分	予算額(千円)	対前年度比
市 税	14,288,035	+ 7.8%
国・県支出金	18,644,130	+ 8.5%
交付税・交付金等	13,853,532	+ 4.0%
市 債	2,866,100	- 41.2%
繰 入 金	2,608,217	+ 228.6%
分担金・負担金・ 使用料・手数料	1,101,194	- 2.8%
そ の 他	2,458,792	+ 37.7%
計	55,820,000	+ 6.6%



歳出(支出)の内訳

区 分	予算額(千円)	対前年度比
民 生 費	28,082,037	+ 4.2%
総 務 費	6,231,840	+ 21.2%
土 木 費	4,567,507	- 13.9%
教 育 費	4,538,293	+ 6.2%
公 債 費	3,927,356	+ 9.4%
衛 生 費	3,867,504	+ 26.4%
消 防 費	1,546,420	+ 21.7%
観 光 費	1,256,059	+ 5.4%
農 林 水 産 業 費	729,632	+ 104.5%
商 工 費	494,069	- 3.7%
議 会 費	351,130	- 1.4%
労 働 費	127,351	+ 105.8%
災 害 復 旧 費	800	増減なし
そ の 他	100,002	- 63.4%
計	55,820,000	+ 6.6%



特別会計の予算額

会 計 名	予算額(千円)	対前年度比
国民健康保険事業	13,253,000	+ 2.6%
競 輪 事 業	31,792,000	+ 20.5%
公共用地先行取得事業	1,000	増減なし
地方卸売市場事業	44,000	+ 2.3%
介護保険事業	13,610,000	+ 0.4%
後期高齢者医療	2,085,000	+ 16.3%
計	60,785,000	+ 11.2%

一般会計の予算額 市民1人あたりでは…

◎ 1年間に納める市税

12万6,830円 (前年度比 + 10,732円)

※歳入市税予算額142億8,803万5千円を、
令和4年3月31日の人口112,655人で割った金額

◎ 1年間に使われるお金

49万5,495円 (前年度比 + 37,153円)

※一般会計歳出予算額558億2,000万円を、
令和4年3月31日の人口112,655人で割った金額

事業紹介

※（）内は予算額を表します。

まちの創生

■歩道等段差解消事業

(1億5500万円)

歩道部分や地域からの要望がある箇所に、段差などバリアフリーの障害となっている不具合箇所を補修・改修し、誰もが安心して安全に通行できるよう、環境の向上を図ります。

■通学路安全対策強化事業

(6100万円)

狭い道路で見通しが悪い通学路において、通行する児童や生徒が車両と接触する危険性が高い箇所を改善し、歩行空間を安心して安全に通学できるよう、環境の向上を図ります。

■公園トイレ洋式化事業

(2340万円)

トイレの洋便器化により誰もが快適に利用できる環境の整備を行います。

■町内公民館建設等支援事業

(2237万5千円)

地域コミュニティの核となる「町内公民館」の環境改善を支援し、自治会ニ

ーズに適切に対応できるように建設等貸付金及び補助金の制度改正を行います。

ひとの創生

■障がい者職場実習促進事業

(114万円)

就職を目指す障がい者と、その雇用に取り組み企業のマッチングを行い、就業に関する不安などを解消し、障がいの有無に関わらず個人として尊重され、安心して地域で共生する社会実現のため、維持する支援に加え獲得する支援を実施します。

■介護人材確保支援事業

(120万円)

介護人材不足を緩和するため、これまでの訪問事業と現任者研修に加え、県の就学資金を活用して学び、市内の事業所などで就労する人に「支援金」を支給します。

■子ども医療費助成事業

(2億2158万2千円)

子どもの傷病の早期治療を促進し、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の自己負担額の一部を助成します。また、

非課税世帯を対象にした小中学生の通院に係る助成を行っているですが、令和4年10月から課税世帯の小中学生にも助成を実施します。(一部自己負担あり)

■金融教育推進事業

(421万3千円)

若年期から金融リテラシーを向上させ、一人一人が金融経済に対して正しい知識を有し、将来、安定的な資産形成を実践することができるよう、小中学生に対し金融教育を実施します。

■プログラミング教育推進事業

(1049万9千円)

中学校技術科で実施している「プログラミング教育」のさらなる充実を図るため、新たな学習教材を導入します。

ついの創生

■事業継続支援事業

(1000万円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業者の経営相談や補助金・助成金の申請補助を行うことにより、売上増強や生産性向上など事業継続について支援します。

■持続可能な観光地づくり事業

(500万円)

今後の観光施策を明確な根拠に基づいて行うために、観光客や事業者の調査・分析、また、産業全体の振興を促すための勉強会を実施します。

■ユニバーサルツーリズム推進事業

(432万6千円)

講演会や基盤整備、モニターツアーなどを実施し、高齢者や障がいのある人を対象の中心としたユニバーサルツーリズムを推進します。

■別府ONSENアカデミア開催事業

(2300万円)

過去4回のシンポジウムなどで培われた研究成果を継承し、「免疫力日本一宣言」に向け、温泉入浴効果を検証する実証実験を行い、分析結果を発表します。



当初予算の概要は、市ホームページでも紹介しています。
「市政」→「財政」→「市の予算(当初予算)」

入湯税充当明細表

充当先事業	金額(千円)
1 衛生費	18,032
じんかい処理費	17,232
し尿処理費	800
2 観光費	253,737
別府市観光みらい創造基金積立金(入湯税超過課税分)	111,189
観光客誘致事業	77,757
観光施設費	17,486
温泉施設費	47,305
3 消防費	41,188
消防施設費	41,188
合計	312,957

入湯税超過課税分の使途(別府市観光みらい創造基金繰入金)

使途	金額(千円)
1 温泉資源の保護、確保	19,805
2 観光客の快適性確保(ストレスフリー)	1,500
3 観光客の安全・安心の確保	27,156
4 観光客を増加させるための事業推進	50,344
5 観光客の受入体制の充実	1,000
合計	99,805

その他主な事業

まちの創生 ～ひととまちをまもり、地域と地域が連携する取組～

◎ ひとまもり・まちまもり支援事業（1,800万円）

地域が連携・協働し、共通の課題を解決するひとまもり・まちまもり協議会の取組を支援することにより、中規模多機能自治の推進を図ります。

◎ 交通不便地域解消実証運行事業（1,355万2千円）

地域公共交通の利便性向上を目的に、市内交通不便地域の解消を図ります。

◎ みんなで健活ポイント事業（3,619万円）

活動量計やアプリを使い、市内に設置した体組成計などで測定した自身の身体の状態を「見える化」することで、より効果的な運動、食事、休息などの教室参加や個別健康指導を行います。また、目標設定に対するポイント付加を行うことで運動習慣の定着を図ります。

◎ 災害情報提供システム導入事業（396万円）

浸水予測などに基づき、市民の状況に応じた逃げ時などをプッシュ通知で取得出来るアプリを導入し、市職員が介在することなく市民が避難タイミングを判断出来るようにすることにより、災害被害者がゼロとなる事を目指します。

◎ 備蓄倉庫整備事業（1億8,282万9千円）

令和4年度に鉄輪地獄地帯公園に備蓄倉庫及び防災施設を新築、あすべっぶ体育室を備蓄倉庫へ改修、令和5年度に内竈に備蓄倉庫を新築することで、備蓄計画に沿った備蓄容量を確保します。

◎ 図書館等一体的整備事業（9,331万6千円）

別府市新図書館等整備基本計画（令和2年3月策定）に基づき、地域課題の解決や地域コミュニティ活性化の拠点、さらには新しい時代に求められる機能を加えた新図書館等の建設に向け設計を行います。

ひとの創生 ～ひとを大切にし、別府で子どもを産み、育て、生きる取組～

◎ 子育て世帯養育支援訪問事業（236万4千円）

様々な要因でネグレクトやヤングケアラーなど、養育支援が必要となっている家庭に対する具体的な支援策としてヘルパー派遣を実施し、支援体制の強化を図ります。

◎ 子どもの見守り体制強化事業（972万9千円）

支援対象児童などの居宅を民間団体などが訪問し、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導支援などを通じた子どもの見守り体制の強化を図ります。

◎ 子どもの貧困対策事業（25万4千円）

支援が難しい相対的貧困などを抱える子どもや家庭に必要な支援につなげるため、連携体制を構築し、適切な支援につなげることを目的として協議会を設置します。

◎ 産婦健診事業（817万7千円）

出産間もない産婦に対し、メンタルチェック、体重・血圧測定、尿検査などの産婦健診を実施します。

◎ スクールソーシャルワーカー（S S W）活用事業（1,557万5千円）

児童生徒の環境改善を図る地域全域担当のS S Wの勤務日数を週2日から週3日に増やし、増加する相談対応の充実に努めます。

◎ 学校給食共同調理場建替事業（8億3,834万2千円）

安全・安心な学校給食の提供を最優先に衛生管理基準及びH A C C P ^{ハチャック} の概念に基づく施設整備・運営を行うため、学校給食共同調理場の建替を行います。

◎ 食物アレルギー対応給食調理場整備事業（519万4千円）

令和5年9月から新学校給食共同調理場の運用が開始されることに併せて、山の手小学校の単独調理場を「食物アレルギー対応給食調理場」に改修します。

しごとの創生 ～新しいひとの流れをつくり、受け入れ、^{もう}儲かる別府に進化する取組～

◎ 別府ツーリズムバレー推進事業（4,045万1千円）

起業・創業支援、企業誘致・ワーケーション推進、ヒトと企業の交流、新規事業創出などツーリズムバレー構想の実現に向けた事業を実施します。

◎ 文化芸術による持続可能な地域づくり事業（1,667万6千円）

アーティスト・クリエイターの移住・定住にかかる施策を実施し、南部地域を中心に芸術文化観光の発信を行います。

◎ 観光ウェブサイトリニューアル事業（2,504万円）

ポストコロナを見据え、誘客拡大、滞在期間の長期化、イメージ向上を目指し、観光ウェブサイトをリニューアルします。